

1 3. 老人福祉センターの管理事業

(1) 気仙沼市老人福祉センター「福寿荘」

【概要】気仙沼市老人福祉センター条例及び指定管理に係る基本協定書に基づき、各種相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上、老人クラブの活動及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与できる体制の充実に努めました。

【事業実績】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
館内	開館日数	20	20	22	22	21	20	21	20	20	19	19	21	245
	＊無い・教室・講座	回数	28	27	28	29	26	28	27	28	28	27	24	300
		人数	890	804	830	784	552	736	708	732	741	669	623	8,069
	福寿荘行事	回数					1	2	1	2			2	8
		人数					21	61	270	182			58	592
	奉仕活動	回数								1				1
		人数								28				28
	施設実習・見学	回数					4		8	2				14
		人数					4		62	16				82
	その他	回数	14	9	11	11	8	6	7	7	8	7	5	93
		人数	152	105	136	144	107	73	80	80	106	80	63	1,126
	計	回数	42	36	39	40	39	36	43	40	36	34	31	416
		人数	1,042	909	966	928	684	870	1,120	1,038	847	749	744	9,897
館外	＊移動福寿荘	回数												0
		人数												0
	市老連関係	回数	2	2	4	1	2		5	2	1	1	3	23
		人数	11	82	177	8	78		81	81	13	7	128	666
	関係団体	回数		1	4	4	1	4	2	1			1	9
		人数		33	64	35	15	70	26	9			79	366
	計	回数	2	3	8	5	3	4	7	3	1	1	4	50
		人数	11	115	241	43	93	70	107	90	13	7	207	1,032
合計	回数	44	39	47	45	42	40	50	43	37	35	35	9	466
		人数	1,053	1,024	1,207	971	777	940	1,227	1,128	860	756	951	10,929
生きがいデイサービス (※再掲)	回数	28	27	28	29	26	28	27	28	28	27	24	0	300
		人数	890	804	830	784	552	736	708	732	741	669	623	8,069

【成果】趣味の集い活動及び独自講座並びに介護予防事業を継続して開催し、生きがいのある学習活動を推進しました。また、関係機関、気仙沼支援・医療・福祉五団体の協力をいただき、介護予防に関する普及啓発講座を開催し、多くの参加を得ました。研修を受講したことで知識を得、日常に活かされたようです。

パソコンの集い卒業生が、2つ目の愛好会を設置し活動を行いました。麻雀の集いでは今迄の成果が実りねんりんピック全国大会に出場しました。また、学生の実習や小学校の交流活動等を受入れ、地域への関心及び様々な人達との関わり方や、施設について理解をいただくことができました。

2月下旬からは新型コロナウイルス感染症の影響により各集い等が中止となり、その都度講師や集い代表者へ連絡しました。また、代表者から連絡網での利用者への周知と感染予防の留意点など声掛けを依頼しました。

【課題】施設の老朽化対応が必要です。また、福寿荘独自講座開催に当たり、多様化するニーズに応えられるよう活動や支援の在り方について工夫を図るとともに、高齢者が安心して利用できるよう必要な研修等職員の資質向上が必要です。

【今後の取組】集いが再開されるまで、介護予防等に繋がる情報を作成し、利用者への提供等支援支援を継続します。また、随時講師や代表者と連携を取りながら進めます。再開後は、介護予防事業及び福寿荘独自講座の内容の充実に努めます。貸館の施設利用者、老人クラブ利用者にとっても、安全で居心地の良い環境となるよう施設の施設の維持管理に努めます。さらに多様化する福祉ニーズに応えられるよう施設の効用を最大限に発揮して、地域に根ざした施設づくりに努めます。

【決算】事業活動収入	19,300,000円	事業活動支出	21,693,384円
その他の収入	5,000円	その他の活動支出	5,187,000円
(運用基金より繰入充当)		当期資金収支差額	-2,388,384円

14. 市受託事業

(1) 気仙沼地区応急仮設住宅入居者サポートセンター運営事業

【概要】 応急仮設住宅入居者等に対する総合相談の実施や訪問・交流活動等により、孤立化・ひきこもり等を防止し、安心した生活が送れるよう支援しました。

【実績】

事業内容等	区 分	件数等	前年度	備 考
出張サポート	仮設住宅集会場等	0 カ所	5	他の仮設住宅集会場等での相談会の開催
	公民館等（借用）	0 カ所	4	仮設住宅集会場等以外での相談会の開催
	相談者数	0 人	384	出張サポート時の相談者数
交流支援事業	交流イベント（他団体共催含む）	81 回/カ所	100	お茶会・イベント等
	参加者数（延べ）	656 人	1,610	交流会への参加者人数
連携調整事業		15 回	48	地区別ミーティングやNPO/NGO連絡会等
仮設訪問	住宅団地数（延べ）	220 カ所	513	訪問した仮設住宅団地数
	戸数（延べ）	751 件	1,878	訪問した住宅団地内の戸数
	（内不在、延べ）	630 件	1,521	訪問したが不在（状況確認）
公営住宅訪問	住宅団地数（延べ）	3 カ所	15	訪問した公営住宅団地数
	戸数（延べ）	3 件	17	訪問した公営住宅団地内の戸数
	（内不在、延べ）	0 件	2	訪問したが不在（状況確認）
在宅（仮設以外）	戸数	12 件	23	みなし仮設等
	（内不在）	2 件	2	訪問したが不在（状況確認）
相談件数	住宅関係	20 件	25	住宅等の問題
	健康相談	284 件	376	身体的健康の問題
	精神的問題	0 件	1	PTSDなど精神的問題
	介護関係	0 件	1	介護保険等相談
	家庭関係	0 件	2	DVなど問題
	交通等	0 件	0	通院や買い物等の問題
	経済関係	0 件	0	経済的な問題
	交流	0 件	0	孤立や交流等の問題
	その他	153 件	221	上記以外の問題など
	合計	457 件	626	
研修会	内部研修	23 回	133	社協内部研修会実施
	外部研修	16 回	11	外部研修会への参加

【成果】 全ての仮設住宅が解消され、仮設住宅から災害公営住宅に移られた方や自立再建し移られた方がスムーズに地域に馴染めるように他機関と連携し支援を行い、仮設を離れても相談や話し合いの場等を持てるようにとの思いで、地域サロンを自治会と協力し開催しました。また、定期的な個別訪問による安否確認の継続や困りごとの相談、集会所を開放して仮設住宅入居者や地域住民との集いをボランティアセンターや他機関と連携しながら、交流活動の継続的な支援を行いサポートセンターとしての役割を果たしました。

【課題】 地域サロンを定期的で開催してきましたが、地域の方々の中で担い手になる方がいない状況でしたが、今後は地域の方々で活動を継続する体制が必要です。

【今後の取組】 令和2年3月末を持ち、気仙沼地区サポートセンターとしての業務を全て終わることができました。

【決算】 事業活動収入 12,668,496円
その他の活動収入 8,890,123円

事業活動支出 21,558,619円
その他の活動による支出 0円
当期資金収支差額 0円

(2) 気仙沼市「絆」再生事業

【概要】被災者と地域コミュニティとの繋がりを支援し、交流活動の実施や支援をするとともにみなし仮設住宅、新たな住まいや地域等での孤立化の防止や見守り、関係機関への連絡・総合相談を実施しました。

【実績】

事業内容	区 分	件数等		備 考
交流事業	交流イベント(他団体共催含む)	78	回/ヶ所	お茶会・イベント等(仮設・地域)
訪問状況	戸数(延べ)	2,027	件	
継続訪問世帯数(見守り等)	仮設住宅	1	件	
	在宅・みなし等	178	件	
相談件数	住宅関係	0	件	住宅等の不具合等
	介護関係	4	件	介護に関する相談
	生活環境関係	0	件	
	交流・社会参加関係	71	件	交流希望・孤立の問題
	交通等関係	0	件	交通手段や時刻表
	精神的問題	0	件	心の問題
	隣人等関係	0	件	隣人トラブルなど
	健康面	1	件	体調面の心配
	物資関係	1	件	物資の問合せ
	軽微なお手伝い	0	件	相談員等スタッフが対応できる軽微な作業
	児童関係	2	件	児童サービスの問合せ
	障害関係	0	件	障害サービスの問合せ
	経済面	0	件	経済的な問題
	傾聴	0	件	不安や葛藤等の相談
	その他	12	件	上記以外の問題など
	合計	91	件	
連携事業	民協定例会出席	128	回	12地区ごと月1回
	地区別支援者ミーティングやNPO/NGO連絡会等	320	回	地区別支援者ミーティング 毎月開催 NPO/NGO連絡会等 毎週開催
各団体との 連携調整	仮設住宅自治会長	21	回	原則全仮設訪問時に情報交換
	地域の自治会長や各種地域団体	1,432	回	随時連携・交流事業(イベント)の共催など
	行政・サポセン・友愛・復興協会・復興圏・NPO/NGO等と		随時	
研修会	内部研修	16	回	内部研修実施
	外部研修	33	回	外部研修会への参加

【成果】災害公営住宅や防災集団住宅団地並びに既存自治会等での活動に参加し住民との交流を通して現況を傾聴し、必要に応じて専門関係機関団体等へと繋ぎ支援を行いました。また、自治会等からの相談を受け、コミュニティ構築に向けて「海潮音体操」や「レクリエーション用具」等を用いて支援を行いました。

自立再建が進む中、地域の組織化の遅れ等から地域に馴染むことに時間を要する方も居ることから、行事等への声掛けを通して住民の状況把握を行い、支援関係団体等と連携を図りながら、孤立しない地域づくりへ向けて取り組みました。

【課題】公営住宅や公営住宅と既存自治会等の交流活動には、参加者の固定化傾向があり、住民同士の繋がりの希薄化等が見られます。住民同士の関係性構築にはもう少し時間を要することから、支援関係団体等とのさらなる連携を図りながら、コミュニティづくりに取り組む必要があります。

【今後の取組】生活支援体制事業と連動し業務を進める中で、地域の要望や課題等を把握する地域のキーパーソンやボランティア団体等との関わりから、地域には多くの住民同士の支え合いがあることを改めて認識できました。

今後も、その地域力が継続し、充実するよう支援しながら、個別支援と地域支援が連動した支え合いのコミュニティづくりに取り組みます。

【決算】事業活動収入	76,650,100円	事業活動支出	79,383,748円
その他の活動収入	6,045,756円	その他の活動支出	3,312,108円
		当期資金収支差額	0円

(3) 気仙沼西地区高齢者相談室運営事業

【概要】気仙沼西地区の災害公営住宅や防災集団移転団地の整備に対応し、高齢者等の生活再建や地域社会への復帰、自立生活を支援するため、仮設住宅を含めて巡回訪問し、安否確認や見守り、声掛け、総合相談等を実施しました。

【実績】

事業内容等	区 分	件数等	備 考
災害公営住宅 巡回訪問	住宅数（延べ）	4	カ所 訪問した災害公営住宅団地数
	戸数（延べ）	2,138	件 訪問した戸数
	（内不在、延べ）	625	件 訪問したが不在（状況確認）
防災集団移転先 巡回訪問	住宅団地数（延べ）	2	カ所 訪問した防災集団移転先数
	戸数（延べ）	48	件 訪問した戸数
	（内不在、延べ）	18	件 訪問したが不在（状況確認）
応急仮設住宅 巡回訪問	住宅団地数（延べ）	1	カ所 訪問した応急仮設住宅団地数
	戸数（延べ）	14	件 訪問した戸数
	（内不在、延べ）	4	件 訪問したが不在（状況確認）
相談件数	住宅関係	79	件 住宅等の問題
	健康相談	56	件 身体的健康の問題
	精神的問題	1	件 PTSDなど精神的問題
	介護関係	9	件 介護保険等相談
	家族関係	1	件 DVなど問題
	交通等	15	件 通院や買い物等の問題
	経済関係	7	件 経済的な問題
	交流	29	件 孤立や交流等の問題
	傾聴	17	件
	その他	92	件 上記以外の問題など
	合計	306	件
お茶会等イベン ト活動	交流イベント（他団体共催含む）	102	3カ所
	参加者数（延べ）	1,843	人
地域支援活動	自治会等	6	回/1カ所
	参加者数（延べ）	538	人
広報公聴活動		1,712	部
各種連絡調整会議	行政・サポセン・ボラセン・NPO/NGO等	35	回
職員研修状況	内部研修	0	回
	外部研修	10	回

【成果】南郷住宅は南郷1区・2区との合同での自治会活動（新春懇談会、夏祭り、避難訓練等）円滑に行われています。四反田住宅及び田中住宅、九条北住宅においても、各地区自治会活動に参加され、それぞれの交流会、お茶会も企画されています。交流会等の援助活動も適宜行いながら、見守り・声掛けを含む訪問活動にも計画的に取り組むことができました。緊急時においては、専門機関との連携や情報共有も適切に行い入居者への援助活動の幅を広げることができました。

【課題】高齢化に伴い、体調を崩す入居者が増えています。会えない方や健康面で心配のある方等との関わり方、精神面で心配のある方が地域から孤立しないよう、今後も専門機関や民生委員等との一層の連携が必要です。

【今後の取組】災害公営住宅からの退去、新たな入居に伴い、これまでと同様に専門機関や他の支援者と協力・連携し、入居及び自立再建された方の安心・安全な日常の確保に努めます。また、計画的な訪問と巡回、丁寧な相談業務の実施はもとより、隣近所が支え合う関係づくりを支援します。

【決算】事業活動収入 10,768,455円

事業活動支出 10,768,455円

当期資金収支差額 0円

(4) 気仙沼市鹿折・唐桑地域包括支援センター

【概要】唐桑地域及び鹿折地区の高齢者に関する、介護や健康、認知症、高齢者虐待に関する相談に対し、訪問や面談、電話で対応し、必要な場合は関係機関と連携し解決に向けた支援を行いました。

認知症総合支援事業の取り組みとして、認知症懇談会（認知症カフェ）を鹿折地区と唐桑地区で開催し啓発普及に努めました。

【実績】

月	実数	対応方法			対応理由区分							
		訪問	面接	電話	認知	権利擁護	介護	生活	ケアマネ支援	予防総合	契約のみ	その他
4	117	84	25	74	29	22	26	14	45	18	3	27
5	69	46	23	79	21	12	36	6	17	17	14	25
6	76	50	23	86	30	18	42	7	15	22	4	21
7	95	71	20	79	17	12	31	17	25	41	12	15
8	80	49	28	81	43	6	46	4	8	21	9	21
9	77	56	21	79	31	4	40	3	13	31	13	20
10	92	43	45	80	11	7	39	8	15	33	3	52
11	94	59	27	77	6	3	28	21	27	49	4	25
12	88	55	37	131	20	11	59	24	20	58	0	31
1	108	72	52	153	34	5	16	6	97	72	4	43
2	83	64	30	97	7	7	44	8	22	69	1	33
3	107	47	33	112	4	10	16	8	34	97	7	16
合計	1086	696	364	1128	253	117	423	126	338	528	74	329
前年度	1006	750	273	810	164	114	447	233	118	172	182	419

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
4月19日	東京都健康長寿医療センター研修会	気仙沼市役所
5月～6月	主任介護支援専門員更新研修	仙台市
5月23日	気仙沼市地域包括ケア推進協議会	気仙沼市役所
5月30日	健康長寿ガイドライン研修	気仙沼市役所
6月21日	介護予防地域ケア会議研修	仙台市
6月22日	宮城県ケアマネジャー協会総会、記念講演	気仙沼市役所
7月24日	気仙沼市地域包括支援センター運営協議会	気仙沼市役所
7月18日	気仙沼市権利擁護研修会	気仙沼市役所
8月24日・25日	認知症初期集中支援チーム員研修	東京都
8月23日	平成30年度気仙沼市介護サービス事業者集団指導	気仙沼市役所
9月3日	気仙沼地域包括ケア推進協議会	気仙沼市役所
10月28日	福祉サービスの苦情解決に関する研修会	仙台市
11月1日	宮城県地域づくりによる介護予防推進研修	仙台市
11月13日	気仙沼市立病院地域医療交流会	気仙プラザホテル
1月31日	気仙沼市医療介護連携研修会	気仙沼市役所
2月4日	気仙沼圏域認知症ケア向上研修会	気仙沼保健所

【成果】認知症の高齢者や家族が暮らしやすい地域づくりを目指し、「認知症懇談会、認知症カフェ」を鹿折地区と唐桑地区において開催し、認知症についての正しい理解の普及に努めました。唐桑地域において、警察、保健福祉課、当地域包括支援センターで「地域ケア会議・エリア会議」を情報共有と連携を目的に開催しました。10月には唐桑地域包括市民フォーラム「みんなで支えあう地域をめざしてin唐桑」を開催し、関係機関と連携し住民同士が支え合える地域づくりの後方支援を行いました。

【課題】高齢者と何らかの障害を持つ世帯への支援が増えています。今年度も「地域ケア会議」を開催し、関係機関で連携して支援できる体制を構築していく必要があります。

【今後の取組】令和2年度の重点的に取り組む業務として、気仙沼市の方針により①介護予防の推進、②権利擁護に関するネットワークの強化、③総合相談支援連携機能の強化について取り組みます。

【決算】事業活動収入 28,583,240円 事業活動支出 27,746,725円
 その他の活動支出 1,352,820円
 当期資金収支差額 -516,305円
 当期資金収支差額 -516,305円
 (前期末支払資金残高から充当)

(5) 気仙沼市本吉地域包括支援センター

【概要】本吉地域の高齢者の実態把握に努め、保健・医療・福祉関係機関と連携し、相談に関わりました。認知症家族懇談会、認知症カフェを開催し認知症の理解、啓発に努めました。世帯で問題を抱える虐待ケースを各関係機関と連携しながら対応しました。

【実績】

月	実数	対応方法			対応理由区分							
		訪問	面接	電話	認知	権利擁護	介護	生活	ケアマネ支援	予防支援	契約のみ	その他
4	85	73	39	88	32	12	49	32	10	39	7	19
5	93	47	33	98	23	1	48	26	11	33	4	32
6	70	56	31	78	15	14	41	24	10	29	3	29
7	99	66	35	121	48	23	37	28	8	30	4	44
8	90	49	41	112	27	4	55	23	10	37	7	39
9	102	70	55	100	30	7	46	23	13	56	7	43
10	96	73	33	75	11	2	53	20	4	63	4	24
11	84	50	30	132	20	4	66	24	8	42	5	43
12	90	63	25	95	10	0	65	13	18	49	2	26
1	82	53	34	83	18	5	62	13	12	36	3	21
2	81	45	42	88	13	20	62	19	8	39	3	11
3	110	58	57	152	24	29	88	41	15	37	3	30
合計	1082	703	455	1222	271	121	672	286	127	490	52	361
前年度	1022	678	426	979	284	153	530	212	134	248	169	369

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
5月10日～27日	主任介護支援専門員更新研修	東北福祉大・県庁等
6月3・4日	主任介護支援専門員更新研修	県庁
6月21日	介護予防のための地域ケア会議推進研修会	県庁
6月25日・26日	認知症地域支援推進員初任者研修	TKPガーデンシティ
6月27日・28日	認知症地域支援推進員現任者研修	TKPガーデンシティ
7月24日	介護保険運営委員会	ワンテン庁舎
7月31日	認知症地域ケア推進会議	三峰病院
10月8日	気仙沼警察署と地域包括支援センターとの情報交換会	ワンテン庁舎
11月1日	宮城県地域づくりによる介護予防推進研修会	TKPガーデンシティ
11月29日	気仙沼・南三陸成年後見サポート連絡協議会	保健所
1月31日	気仙沼市医療介護連携研修会	ワンテン庁舎
2月4日	地域包括ケア推進協議会合同幹事会	ワンテン庁舎
2月5日	高齢者虐待対応会議	ワンテン庁舎

【成果】認知症懇談会では、家族が抱える問題や不安について講話を聴き介護者の交流ができました。地域でカフェを開催したところ若年性認知症の方の参加もあり、当事者の居場所づくりができました。ケアマネジメント情報連絡会では、障害も含め、地域の社会資源の情報共有と他職種の連携を図りました。各地域の懇談会に参加し、包括の周知ができました。

【課題】認知症高齢者と虐待のケースが増えており、地域や関係機関との連携を密にしていく必要があると思われます。また、ケアマネの後方支援も更に強化していく必要があります。

【今後の取組】認知症になっても安心して地域で暮らせるよう、地域や関係機関と連携し、ケア会議等で情報共有を図りながら、今までの事業を継続し認知症の啓発活動に努めます。また、ケアマネジャーの事例検討会等を通してケアマネの後方支援を充実させていきます。

【決算】事業活動収入 27,294,113円

事業活動支出 25,511,777円
 その他の活動による支出 1,364,556円
 当期資金収支差額 417,780円

(6) 津谷在宅介護支援センター

【概要】本吉地域（津谷、馬籠、大谷地域）の高齢者の総合相談窓口として、訪問等による相談や実態調査を実施し、生活課題の早期把握や早期支援に努めました。

【実績】

1 実態把握業務

区分別調査件数	実態把握件数		
	年度初回	2回目以降	合計
訪問	8	0	8
来所	0	0	
合計	8	0	8
前年度	44	0	44

2 活動実績内訳

訪問目的内訳		訪問		来所のみ	
		実数	延数	実数	延数
に包 よ括 るの 訪依 問頼	在介実態把握	8	8	0	0
	在介経過観察・見守り	0	0	0	0
	サービス未利用者実態把握(要介護者)	0	0	0	0
	サービス未利用者実態把握(要支援者)	0	0	0	0
	二次予防事業実態把握	0	0	0	0
相 談 に よ る 訪 問	家族	0	0	0	0
	本人	0	0	0	0
	民生委員	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
合 計		8	8	0	0

支援内容内訳		訪問		来所のみ	
		実数	延数	実数	延数
介 護 保 険 適 用	介護保険認定申請支援	0	0	0	0
	居宅介護支援事業所紹介			0	0
	施設入所支援	0	0	0	0
	福祉用具購入	0	0	0	0
	住宅改修	0	0	0	0
地域包括支援センターへ				0	0
他制度利用支援		0	0	0	0
要経過観察		8	8	0	0
二次予防事業への参加意向の有無 訪問型		0	0	0	0
通所型		0	0	0	0
救急医療情報キット配付		0	0	0	0
合 計		0	0	0	0

【成果】実態把握や相談業務により、高齢者の生活課題や生活環境に問題がある方の早期把握とともに必要な支援に向け、包括支援センターと連携し進めました。

【課題】従事職員が兼務の為、効果的な時間配分と配車計画が必要となっています。

【今後の取組】独居や高齢世帯、認知症の高齢者など地域との関わりをさらに強くしていく必要があることから、対象者本人にも地域との関わりを大切にすることを呼び掛け民生委員や振興会長等との連携強化に努めます。新年度では事業推進体制の見直しを考えています。

【決算】事業活動収入 34,400円 事業活動支出 34,400円
当期資金収支差額 0円

事業名	内 容
生活支援型食事サービス	【概要】 虚弱な高齢者の単身世帯等を対象に、生活を支える「食」の確保を図りながら安否確認と自立支援を行うとともに、利用者とその家族の身体的・精神的な負担の軽減を図ることを目的として、毎週火・木・金曜日のうち週1～2回の利用ができるものとし、民生委員・児童委員、ボランティア等の協力を得て実施しました。 【実績】 気仙沼地域 利用者：36人 配食数：1,889食 唐桑地域 " : 6人 " : 251食 本吉地域 " : 35人 " : 824食 " 計77人 " 計2,964食 【成果】 緊急対応となるケースはありませんでした。また、現在の状況と今後について、市担当課との話し合いを行いました。 【課題】 高齢者向け弁当配達を行う民間の業者が増えていることから、引き続き事業実施について整理・検討する必要があります。 【今後の取組】 引き続き、事業について内部で整理・検討を重ねながら、市担当課と継続的に話し合いの場を設けます。 【決算】 3,438,777 円
生きがい活動支援通所事業 (元気老人デイサービス事業)	【概要】 おおむね65歳以上の高齢者を対象に、本吉保健福祉センター及び地域集会所等において、生きがい活動援助員による通所サービスを提供することにより、社会的孤立感の解消や自立生活の助長及び要介護状態となることの予防を図りました。 【実績】 延利用回数 : 220回 延利用者数 : 2,774人 【成果】 新たな仲間や地域の方々との交流を大切に、趣味活動や体操などのプログラムを充実させ、協力して作り上げる喜びと満足感の提供ができました。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため2月下旬以降は開催自粛となりましたが、利用者に対する電話による健康相談や困りごとの有無等の聞き取りや生活に必要な情報などのチラシを作成して届け、生活不活発病やフレイル予防の支援に取り組みました。 【課題】 参加者の状態に合わせ、無理なく楽しくできていることを持続しつつ、専門的な健康や生活についての講話を積極的に取り入れ、勉強会などを多く組み合わせて支援していくことが必要です。 【今後の取組】 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、開催自粛期間は、利用者に対する電話による健康相談や困りごとの有無等の聞き取りや生活に必要な情報などのチラシを作成して届け、生活不活発病やフレイル予防の支援に取り組みました。再開後は、利用者の心身状況に応じたリスク管理の確認をしながら、より楽しく充実した時間が過ごせるような支援に取り組みます。 【決算】 7,511,380 円

家族介護者交流事業 (本吉地域)	【概要】 高齢者を在宅で介護している家族に対して、日帰り旅行で介護者相互の交流を通し、介護者を介護から一時的に開放することにより、参加者の心身のリフレッシュを図りました。 【実績】 7月3日 (水) 館が森高原ホテル 参加者 16 名 12月6日 (金) 五葉温泉 参加者 21 名 【成果】 介護者同士の交流により、参加者同士の会話の中から「普段の介護の仕方について」をお話しされたり、「毎回、この交流が楽しみです。」「次回も楽しみにしています。この事業は、是非続けて下さい。」という意見もいただきました。外出し、食事をしながら日頃の悩みをお話することにより気分転換の時間を持ち、リフレッシュに繋げることができました。 【課題】 行き先の選定で迷いますが、今回は初めての行き先を選定し、皆さんに喜んでいただきました。また、男性介護者の参加が少ないので男性同士での会話もできるように、男性参加者も増やしていければと思います。今後も、皆さんの意見を参考にしながら少しでもリフレッシュできる時間を作っていきます。 【今後の取組】 事業周知はケアマネによるところが大きいですが、その他の介護事業所や市広報などに計画的に掲載することで幅広い周知を進め、ひとりでも多くの方に参加していただけるよう努めます。 【決算】 163,926 円
家族介護教室事業	【概要】 高齢者を介護している家族等に対し、家族介護教室を開催することにより要介護高齢者の状態の維持・改善を図るとともに、在宅生活の質の向上を図ります。 【実績】 11月1日 (金) 講話「おいしく食べて健康に～在宅介護の食事について」 気仙沼市本吉総合支所保健福祉課 栄養士 参加者 14 名 2月14日 (金) 講和「ストレスを溜めない介護について」 みやぎ心のケアセンター気仙沼地域センター 公認心理士、看護師 参加者 21 名 【成果】 11月の教室では、要介護者だけでなく介護をしている方がまずは、自分の食事を見直し自分自身の介護予防を心掛けていかなければいけないことなど、参加者の年齢にも合わせて講話をいただきました。塩分や糖分など具体的な量を示していただき、栄養バランスを摂ることが難しいことではないことを分かりやすく説明をいただきました。2月の教室では、ストレスに対する気持ちの捉え方やストレス解消法について、紙芝居などを使いながら講話をいただきました。自分自身でできるストレッチや呼吸法、瞑想などを行い和やかな雰囲気を進めることができ、21名という多くの方がリフレッシュの時間を過ごすことができました。 【課題】 教室についても、交流会と同じく男性の参加者が少なく、今回参加された男性から「女性ばかりで気が引ける」とのお話があり、も

	つと積極的に男性介護者の参加を促し、増やす必要があります。 【今後の取組】事業周知はケアマネによるところが大きいですが、その他の介護事業所や市広報などに計画的に掲載することで幅広い周知を進めます。男性介護員を含め、一人でも多くの方が参加し、参加者同士のネットワークづくりを支援します。 【決算】41,700 円
外出支援サービス事業	【概要】リフト付車両及びストレッチャー装備ワゴン車等により、利用者の居宅と在宅福祉サービスを提供する場所及び医療機関等との間の移動を支援しました。 【実績】 延利用者数 33人（実利用者4人） 延利用回数 66回（自宅から目的地までの片道を1回でカウント） 【成果】リフト付きの車両での送迎が必要な方の定期的な通院時の移動支援の一助を担うことができました。 【課題】気仙沼市からの委託事業ですが、市内での介護タクシーが普及している状況であることから、事業のあり方について気仙沼市と協議する必要があります。 【今後の取組】今後の事業運営について、委託者である気仙沼市と協議をしておりますが、現行は引き続き効果的な事業となるよう取り組みます。 車両の保管管理については、社協としての車両管理等について、市担当課とも連絡を密にし、法令遵守を徹底します。 【決算】107,194 円
大谷学童保育事業	【概要】日中、留守家庭等により保育が困難と認められる小学1年生から6年生までの児童を預かり、保育する目的で学童保育事業を実施してきました。保育ニーズに沿える事業として一日単位の一時預かり保育や長期休業中の短期利用児童の受け入れ事業も年間を通して行ってきました。地域や世代間の交流事業を取り入れながら運営に当たってきました。 【実績】対象児童：留守家庭の小学1年生から6年生まで 登録児童数：24名 延開所日数：288日 通常利用延人数：4、383人 短期利用延人数：43人 【成果】加配児童及び子ども達のおかれている状況が多様化してきている中での受け入れに当たり、児童及び各家庭の状況把握に努め、職員間での共通理解を図りながら、事故防止に努めました。また、小学校との情報共有に努め、個々に寄り添える保育に務めました。リスク管理の徹底を図り、感染症予防対策や避難訓練を実施し、職員間での共通認識を図りました。季節ごとの様々な行事を取り入れながら、地域の方々との世代間交流事業を実施し、地域に開けた学童保育になるよう取り組みました。地域の方を招いての研修や講習など、学童保育への理解を求めな

	がら、職員の自己研鑽にも努めました。 【課題】個々の児童の把握とその対応については児童との信頼関係の構築が必要不可欠ですが、職員配置の体制上、また継続して業務にあたることできないなど、技術や経験を積むことが難しい状況です。安全管理を優先し、児童の見守り強化に努めました。事業を行う上で必要な学童職員の配置の安定と専門性が課題です。 【今後の取組】令和2年度4月より、特定非営利活動法人気仙沼市学童保育運営委員会に運営が移行されます。 【決算】8,818,460円
生活支援体制整備事業	【概要】互助を基本とした地域の多様な主体による多様な生活支援・介護予防サービスの提供体制を推進するとともに、支援ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、支え合いの体制づくりの充実・強化を図ることを目的に活動しました。地区担当職員（地域支え合い推進員）を配置し、支え合いの地域づくりに取り組みました。 【実績】 ・地区社協会長会議にて事業説明 ・第1層協議体（地域包括ケア推進コミュニティ・生活支援専門部会）出席 ・地域で楽しく支え合い～おらほのお宝発表会～開催（8月21日） ・西地区交流事業団体の情報交換会&交流会（2月7日） ・地区住民懇談会 ・地域支え合い活動推進モデル地区社協指定事業（再掲） 【指定】2年目 ・新月地区社会福祉協議会 ・松岩地区社会福祉協議会 1年目 ・大谷地区社会福祉協議会 ・生活支援体制整備事業パネル展（於老人福祉センター福寿荘ロビー） 【期間】 令和元年10月21日～11月8日 ほか、本吉地域福祉まつり、唐桑地区福祉まつり等で掲示 ・生活支援コーディネーター研修 気仙沼市会場 5日間開催（延308人受講） ・宮城発！これからの福祉を考える全国セミナー 気仙沼の活動発表「踏み切り手前のお茶処」 ・地域支え合い協力員・地域支え合い推進員等勉強会開催（1回） ・地域支え合い推進員連絡会議（10回うち1回は絆再生事業との合同ミーティング） ・地域支え合い協力員・地域支え合い推進員合同連絡会議開催（1回） ・社協だよりによる、地域活動「お宝」の発信 ・生活支援体制整備事業は、本会が推進してきた小地域福祉活動の「支え合いの地域づくり」と目的が合致することから、地域福祉の推進と捉え、事業を推進しました。 【成果】地域の活動を「社協だより」「地区住民懇談会」「お宝発表会」

	等を通じて周知するなど回数を重ねることで、住民が身近な地域福祉活動の大切さを再認識する機会が増え、活動の充実や意識向上が見られました。また、地域支え合い推進員が4人増え12人体制になりました。 なお、地区ミーティングの参加など専門機関や関係機関との連携が進みました。話し合いの場の大切さを学ぶことを目的として「地区社協役員研修会（3月6日予定）は、新型コロナウイルス感染の影響で延期となりました。 【課題】地域活動団体紹介の資料作成のため、年明けから順次団体へ取材予定でしたが、新型コロナウイルス感染の影響から進まず、次年度の完成予定日が遅れる見込みです。 【今後の取組】延期していた「地区社協役員研修」を開催し、地域と一体的に事業に取り組む意識共有を図ります。また、市と連携し、地区社協圏域等において住民同士が介護予防と支え合いについて話し合う機会を持ちます。 【決算】5,200,000 円
--	--

15. 団体事務

事業名	内 容
気仙沼市民生委員児童委員協議会	【概要】市民児協事務局として、団体会務に係る外部機関との連絡調整から各地区民児協及び委員への情報提供等を行いました。 【実績】役員会 3回（4月、10月、3月）、 総会（5月） 監査会 1回（5月） 【成果】新しい制度等の情報提供等積極的に民協活動を支援したほか、市役所担当部署との連携により、ワンテン庁舎内情報プラザにおいて昨年度に引き続き民生委員制度周知活動を実施しました。さらには、民生委員の活動環境改善に向けた要望書を気仙沼市長に提出しました。 【課題】一斉改選後の新体制となったことに伴い、改めて組織運営と委員活動を滞りなく進めていくための支援が必要です。 【今後の取組】市民児協事務局として、単位民児協が円滑な運営を図れるように、市担当部署等と連携して運営支援に取り組みます。
本吉ブロック民生委員児童委員協議会連絡協議会	【概要】本吉ブロック民児協（構成：気仙沼市民児協・南三陸町民児協）の事務局として、団体会務に係る外部機関との連絡調整をしました。 【実績】なし 【成果】ブロック管内での相談支援の資質向上や諸制度理解に向けた研修機会の確保に向けて南三陸町民児協事務局と連絡調整を進めました。 【課題】南三陸町民児協事務局との日程調整が難しく、理事会等を開

	催することができませんでした。 【今後の取組】南三陸町民児協と連携の下、本吉ブロック管内における民生委員・児童委員活動の課題を共有しながら、必要に応じた研修機会等を作っていきます。
気仙沼市共同募金委員会	【概要】共同募金委員会事務局として、住民への募金に関する理解や募金運動に関する支援、団体会務に係る外部機関との連絡調整等を行いました。 【実績】 監査会 1回（7月）、理事会 1回（8月） 評議員会 1回（8月）、 運営委員会 1回（9月）、配分審査会 1回（12月） 【成果】自治会長及び地区奉仕員を中心に、広く住民に共同募金の趣旨の理解を得て、前年度と同等程度の募金協力を得ることができました。また、宮城県共募助成事業の幅広い周知により、市内各地で助成金を活用した地域活動が展開されました。 さらには、宮城県共同募金会市町村共同募金委員会設置規程等に準じて、新たな体制を整備しました。 【課題】効果的な募金運動展開や安定した事業運営に向けて、県共同募金会と連携して運営支援に取り組みます。 【今後の取組】宮城県共同募金会との連携をさらに強め、市民に対して共同募金の趣旨と協力の継続や拡大を図るための広報活動の検討を進めると共に、配分方法についても深く研究しながら、市民の善意が効果的に配分活用されるよう、団体会務を支援します。
気仙沼市ボランティア連絡会	【概要】市内のボランティア団体をもって組織し、各団体の育成と連携・協力を図り、ボランティア活動の推進に寄与することを目的としており、現在は旧気仙沼地区と唐桑地区の計12地区ボランティアクラブから構成されています。 【実績】総会（1回）、監査会（1回）、役員会（7回）、他団体会議への出席、他団体活動への参加協力、研修会、新春懇話会、広報紙の発行等 【成果】情報の共有や連携を図ることにより、活動の幅が広がり活動の質の向上に繋がっています。 【課題】台風や新型コロナウイルスの影響により、予定していた県内のボランティア団体との交流事業が中止や参加見送りとなり、情報交換やネットワークづくりに支障をきたしています。 【今後の取組】感染症の拡大防止を考慮しつつ、地域のボランティア団体の円滑な連携や県内のボランティア団体との交流を図り、より充実したボランティア活動の推進に繋がるよう努めます。
気仙沼市老人クラブ連合会	【概要】老人クラブ活動の活性化を図り、市老人クラブ連合会事務の適正な運営に努めました。 【実績】会議等（総会1回、定例理事会6回、監査会1回、専門

	部会 7 回、市高齢者事業運営委員会 4 回、研修会 5 回、関係大会 6 回) 【成果】女性部の交流会は各地区持ち回りでの活動のため、地区からの参加が多くなってきました。男性会員も参加することから、各地区の情報を共有することで自地区での活動の幅が広がり、活動の向上に繋がっています。また、多くの研修会に参加することにより、今後の活動について検討することができました。今年度は、関係機関の協力をいただき、介護予防の研修・実技を行った事で知識を得て日常に活かせるよう支援しました。 【課題】専門部（総務部・健康体力づくり部・交通安全部・女性部）の活動が自主的に運営できるよう引き続き検討します。また高齢化による会員の減少が課題です。 【今後の取組】地域の担い手として、地域の老人クラブの力を活かし、交流を深めながらクラブの活性化と会員加入増進運動に取り組めます。また、女性リーダーの育成と各専門部活動の充実強化を図ります。さらに関係団体と円滑な連携を図り、高齢者の健康づくり、介護予防の推進を目的とした研修会や実践活動の推進に努めます。
本吉町老人クラブ連合会	【概要】関係機関と連携し、自主的運営による全国三大運動（心と体の健康づくり、友愛活動、社会奉仕活動）の推進と活性化を図りました。 【実績】会議等（総会 1 回、単位クラブ会長会議 4 回）、本吉地域福まつりへ協力・参加、室内体育大会等健康づくり関係事業 3 回、芸能交歓会、リーダー移動研修、また、女性部移動研修を実施しました。 【成果】当初の計画通り事業を実施しました。昨年度の反省を踏まえ事業を行い、各関係機関からの協力を得ながら円滑に運営ができました。会員の方々の積極的な活躍の機会を作ることができました。 【課題】昨年同様に、価値観や趣味の多様化から後継者となる若い層の会員の加入促進が課題となっています。また、会員の高齢化が進み、事業への参加者の選定も難しいクラブも出てきており、今後の事業運営について見直し、検討が必要です。 【今後の取組】単位クラブ会長会議等にて、クラブや事業の在り方について事業の見直しや検討を行い、充実した魅力のある事業運営に努めます。
本吉地区遺族会	【概要】遺族会として友愛の精神で互いに助け合い、福祉の増進に努め、戦没者諸英霊の祭祀を厚くし、関係機関と連携強調することにより、後世にわたって平和の尊さを認識してもらえよう意識しながら事業を推進しました。 【実績】会議等（総会 1 回、監査会 1 回、役員会 2 回）

	気仙沼市戦没者追悼式参列 本吉地区戦没者追悼式開催 【成果】役員が一丸となり会員減少に向けた取り組みを検討・対応しながら会の運営に努めました。 【課題】役員が一丸となって会員減少に対する取り組みをしていますが、先祖を敬う気持ちの希薄化が顕著にみられ、会員は年々減少傾向にあります。 【今後の取組】役員が中心となり様々な機会に会員の減少を防ぐ呼び掛けをはじめ、戦争の悲惨さを語り継ぎ、平和な世の中が今後も続くように会の取り組みを支援します。
--	---